

農村における健康意識

— 59年度農協職員の検診から —

富山県農村医学研究会

豊田文一

はじめに

私は数年間、産業医として農協職員の健康管理にたずさわってきた。もちろん各職場においての集団検診の形式をとり、問診とともに、各種検査によって、その時点における健康状態を把握し、正常、要観察、要精診、要治療に分別する。しかし集団検診は、一定時間に多数の人々の訴えを聞きながら、最小限度の必要項目で、能率よく選別するので、異常の疑いのあるもの、あるいは異常と認められるものについては適当な医療機関で診断を求めるよう指示する。

また、6ヵ月後に異常の疑いがあったもの、異常を認めたものについて第二次検診を行ない、送致した医療機関よりの結果に基づき、それに応じて対処する。このことは、産業医として職員の健康を守るため是非必要であると考えたからである。巷間伝えられる労働基準法による年中行事として取り扱っている所もあるらしく、職員の健康を守るため是非その追跡調査を行うべきと考えている。

私は59年度、定期検診は県下15農協、2連合会である。私はさらに上述したように6ヵ月後、第二次検診を行ない、その概要につき述べ、職員の健康意識につき考えてみたいと思う。

調査成績

検診は、問診、胸部レントゲン撮影、血圧測定、尿蛋白、糖、ウロビリノーゲンについ

て行なった。なお血圧はWHOの基準に従い、収縮期血圧140mmHg未満、拡張期血圧90mmHg未満を正常、収縮期血圧140～160mmHg、拡張期血圧90～95mmHgを境界域、そして収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧95mmHg以上を高血圧とした。

定期検診の受診者は、対象人員3,045名で、受診人員は2,835名、93.1%で、その事業所別は第1表の如く、全員受診もあるが、最低は73.3%であった。

第1表 定期検診受診者

農協名	対象人員	受診人員	百分率
黒部	297	280	94.3
立山	164	163	99.4
上市	158	155	98.1
大沢野	103	103	100.0
八尾	191	140	73.3
富山東	72	69	95.8
信連	131	112	85.5
経済連	398	337	84.7
射水	107	104	97.2
呉羽	97	94	96.9
新湊	115	99	86.1
高岡	331	315	95.2
戸出	94	94	100.0
氷見	384	383	99.7
井波	61	57	93.4
小矢部	281	277	98.6
庄川	61	53	86.9
合計	3,045	2,835	93.1

6ヵ月後の第二次検診は、対象者は375名、すなわち定期検診受診者の13.2%である。受診人員の事業所別は第2表に示すように対象人員375名中293名で79.2%であり、定期検診の93.1%より低率であった。対象者全員受診した事業所もあったが、甚しきは半数に止ったところもあった。

第2表 二次検診受診者

農協名	対象人員	受診人員	百分率
黒部	36	30	83.3
立山	13	13	100.0
上市	23	18	78.3
大沢野	15	15	100.0
八尾	14	12	85.7
富山東	13	9	69.2
信連	16	12	75.0
経済連	45	31	68.9
射水	10	5	50.0
呉羽	17	16	94.1
新湊	14	10	71.4
高岡	37	29	78.4
戸出	24	17	70.8
氷見	58	46	79.3
井波	6	4	66.7
小矢部	28	21	75.0
庄川	6	5	83.3
合計	375	293	78.1

総括

胸部レントゲン所見で排菌のある肺結核患者1名検出され、これは約8ヵ月入院加療し、現在治癒の状態にあり勤務している。その他胸部に所見はあったが、石灰沈着、あるいは陈旧性の癒着で顧慮する必要はなかった。

また、血圧異常を指摘されたもの196名、精検を受けたもの115名、58.7%で、そのうち、治療あるいは、医師の指示に従って管理を行っているもの106名、92.2%、治療中断6名、5.2%、精診で異常なしといわれたもの3名、2.6%であった。また、定期検診後、異

常を指摘されながら放置しているもの81名、41.3%、第二次検診にて依然として血圧異常のあるもの52名、64.2%、また血圧正常であったもの29名、35.8%あった。この集団的検診は、職員が就業中検診を受けるので、事業所にて激しい労働を行っているものもあり、第一次と第二次において差の生ずることはやむをえないと思う(第3表)。

第3表 血圧異常者事後処理(196名)

精診	治療管理	治療中断	異常なし	合計
	106	6	3	115
	92.2%	5.2%	2.6%	58.7%
放置	血圧異常		異常なし	合計
	52		29	81
	64.2%		35.8%	41.3%

また私は、毎年その事業所の死亡者を調査し、健康調査カードを参照しているが、某所にて、毎年高血圧といわれるのが嫌で、3年間受診せず、自覚症状もほとんどなかったので放置しており、脳卒中にて死亡している例に遭遇した。

次に尿蛋白(+)以上を陽性とみなしたが、定期検診で、陽性10名、0.4%で、極めて少く、そのうち精診を受けたもの6名で、治療管理を行っているもの5名、83.3%、異常のなかったもの1名、16.7%、放置していたもの4名で、第二次検診で蛋白陽性、異常なし各2名であった(第4表)。

第4表 尿蛋白陽性者の事後処理

(10名)

精診	治療管理	異常なし	合計
	5	1	6
	83.3%	16.7%	60.0%
放置	蛋白陽性	異常なし	合計
	2	2	4
	50.0%	50.0%	40.0%

次に尿糖陽性者44名、第一次検診人員の0.15%であり、そのうち精診を受けたもの16名、36.4%、放置したものの28名、63.6%、精

診を受けたものの12名は治療管理を行っており、4名は異常はなかった。また放置28名のうち依然として尿糖陽性11名、39.3%、他の17名、60.7%は異常はなかった。尿糖陽性者の第一次検診で陽性だったもののうち、問診にて検診直前にコーヒー、あるいは甘味をとったというものもあり、検診に際し、各事業所においては労働、食事、飲酒について、保健担当者より十分指示を与えてもらいたい。(第5表)

第5表 尿糖陽性者の事後処理
(44名)

精 診	治療管理	異常なし	合 計
	12	4	16
	75.0%	25.0%	36.4%
放 置	尿糖陽性	異常なし	合 計
	11	17	28
	39.3%	60.7%	63.6%

また、尿ウロビリノーゲン陽性者は皆無であった。ただ数年前、県西部のある農協で、7月下旬、極めて高率のウロビリノーゲン陽性者が出現した。あまりにも異常だったので事情を調査したところ、丁度勤労者のボーナス支払後であり、農協職員が、いわゆるボーリングと称する貯金勧誘に深夜まで戸別訪問し、帰宅後深酒をするものも多く、陽性率が異常に高かったらしく、その2週間後、再検査したところ、陽性率が極めて少かったことを記憶してしている。

私は昭和59年度の農協職員の定期検診、第二次検診を願みて、敢えて農村の健康意識といったのは、職員の90%は農村地帯に居住生活している。しかし都市化の進展に伴う農地の宅地化、大規模農家、中核農家への農地の貸付け、経営委託による農地の流動化、山間部の過疎化、経営環境の悪化による経営意欲の減退などで、富山県においては、専業農家3.7%、第1種兼業5.9%、第2種兼業90.4%となっている。(昭和59年2月、県統計調査課

：農業センサス) 従って農協職員の多くは、その生活自体、都市生活者と大差はないだろう。

また、60年10月に発表された厚生省の健康マップをみても、一般健康診査は富山市、高岡市は40%内外、ことに胃ガン、子宮ガンの受診率は、県平均それぞれ8.5%、7.5%に対して胃ガンは3.6%(富山)、4.4%(高岡)、子宮ガンは3.6%、4.6%と県下最低である。原因はどこにあるか判明しかねるが、職員健診、とくに二次検診において放置するもの多いのは、その健康に対する意識が都市化のパターンを示すのでなかろうか。

しかし県内においても、老人健康法による一般健康診査受診率48.5%に対し、東砺波郡城端町を中心とした町村、五ヶ山地区は極めて高い(城端95.0%、井口93.3%、利賀92.8%、上平86.0%、福光83.8%、庄川82.5%、福野80.5%、井波80.0%)。また、胃ガン検診受診率も、県平均8.5%に対し、この地域の受診率の高い所が多い(上平32.3%、平24.6%、井口22.7%、城端20.0%、利賀18.3%、福野17.1%)。子宮ガン検診受診率も県平均7.3%に対し極めて高率である(平38.6%、上平31.3%、城端21.7%、庄川16.6%)。この胃ガン検診受診率、子宮ガン受診率については、富山市、高岡市はワースト3に位する。

この城端を中心とした東砺波地区の受診率の高いことは、福野保健所並びに城端厚生病院の地域社会への健康管理に対する指導啓蒙の絶え間ない努力の成果として敬意を表する。

ここに県内市町村別「健康マップ集計表」を呈示して参考に供する。(第6表)

第6表 県内市町村別「健康マップ」集計表 (一部)

	一般健康診査 受診率 (%)			胃ガン検診 受診率 (%)			子宮ガン健診 受診率 (%)			平均寿命(歳)		老人1人当たり 医療費(千円)
	48.5			8.5			7.3			男	女	
県平均	48.5			8.5			7.3			73.46	78.78	513
1	城端	95.0	山田	41.2	平	38.6	舟橋	77.86	大島	83.87	富山	640
2	井口	93.3	下村	37.3	上平	31.3	細入	77.63	下村	83.37	舟橋	590
3	利賀	92.8	上平	32.3	城端	21.7	井波	75.90	宇奈月	80.98	大山	570
4	上平	86.0	細入	27.5	細入	20.0	福岡	75.45	平	80.43	朝日	560
5	入善	85.7	大門	26.5	大門	19.7	小矢部	75.25	砺波	79.98	立山	537
6	朝日	84.8	平	24.6	大山	17.8	庄川	74.74	城端	79.92	滑川	535
7	福光	83.8	井口	22.7	庄川	16.5	砺波	74.19	黒部	79.84	小杉	525
8	山田	83.1	城端	20.0	山田	15.8	上平	74.08	舟橋	79.84	高岡	523
9	庄川	82.5	利賀	18.3	氷見	15.2	黒部	73.92	井波	79.84	上市	518
10	福野	80.5	大山	17.8	下村	14.4	城端	73.91	小杉	79.65	入善	508
11	井波	80.0	福野	17.1	黒部	12.0	高岡	73.85	魚津	79.42	魚津	507
12	細入	78.9	舟橋	16.9	大沢野	12.0	宇奈月	73.79	小矢部	79.37	新湊	487
13	大山	78.9	宇奈月	16.9	舟橋	11.5	大山	73.75	庄川	79.37	城端	482
14	福岡	77.9	小杉	16.5	大島	10.9	小杉	73.74	朝日	79.23	小矢部	477
15	下村	69.6	大沢野	15.4	魚津	10.5	婦中	73.69	入善	79.18	黒部	473
33	滑川	36.9	入善	6.5	高岡	4.6	魚津	71.75	大山	76.99	山田	326
34	立山	36.5	高岡	4.4	入善	4.5	滑川	71.36	細入	75.94	利賀	321
35	黒部	34.8	富山	3.6	富山	3.6	下村	70.18	山田	75.29	平	298

以上、農協職員の定期健康診断、ならびに第二次健康診断の調査成績を中心とし、農村における健康意識に対する私見の一端を述べ

たが、私どもは、さらに調査研究をもとに健康で明るい農村を作るため努力したいと考えている。